

「延世大学校スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学工学部 金翼晟 (氏名)

私は、今回の延世大学校スプリングスクールに参加してみて、この短期留学が自分にとってとても大切な経験となりました。最初の方はあまり気が乗りませんでした。行くことにしたのも自分の選択でしたが、海外旅行にほぼ全くとっていい程行ったことがなく、行こうか行くまいか悩んでいました。そのとき両親の何でも経験だと、行けるときに行っておけとの後押しによって行くことを決断できたのでした。しかし、いざ行ってみると、この21日間は想像もできないほど楽しく、そしてとても貴重な経験であふれていました。まず一番はじめに、一緒に行った京都大学生と仲良くなれたのがよかったです。私は、工学部に属しており、他学部の学生と交流する機会が多くはありません。そんな他学部生と友達になることができ、同時にいろんな経歴を持った学生たちが多く、とても刺激的でした。

学校では、皆が自分の語学レベルに応じたクラスに入り、ハイレベルの授業を受けることができました。そこで新たな難しい文法や単語、話法などを学び、クラスメイトのみんなと韓国語で会話することで韓国語のレベルが一層向上したように思います。クラスには、日本人の他に中国人や台湾人、アメリカ人やカザフスタン人などいろんな国から来た人であふれていました。日本に住んでいる人以外と全く関わってこなかった私にとって、そこは不思議でもあり、同時に魅力のあふれる空間でした。そこで出会った外国人の人たちと交流する間に、その国の言葉やその国独自の文化などの話し合いで大いに盛り上がったことも楽しかった思い出です。

松島で受けた授業では、現地の学生たちとディスカッションを行い、さらに両国の文化や国際的な観点の違いなどについて議論しました。その後に行われた交流会では延世大学生たちとも打ち解けることができ、とてもよかったです。

言語交換のプログラムでは、とても素敵な韓国人の友達ことができました。彼は、日本語が流ちょうではありませんでしたが、私たちが理解できるように、翻訳機も使いながら熱心に話しかけてくれました。そして、私たちの行きたい場所を伝えると、それをまとめて一日の予定を立ててくれ、その行くところの歴史的背景や建物にどのような意味が込められているかなどを事前に探して覚え、私たちに丁寧に説明してくれました。昼食や夕食も名店を調べてくれていてそこに連れて行ってくれました。彼は工学部3回生で、課題や実験で忙しいにもかかわらず、課題は徹夜ですから大丈夫だと無理を言いながら、私たちと会うことを優先してくれました。彼とは今でも連絡を取り合っており、近々日本に来る予定なので今度は私が恩返しもかねて一緒に京都旅行をしようと思っています。

今回のこの短期留学で多くの人と出会い、そして違う国で多くの経験をし、現地の人とも会話することで韓国語も上達し、とても有意義な留学となりました。この経験を生かし、これから語学や専門の勉強に専念するのももちろん、外国人との交流や長期の留学についても考えようと思っています。